

# 乙川水質調査

美しい乙川を守るために



ぼくは岡崎市に引っこしてきて初めて乙川をみたとき  
「ぼくの名前の川だ」とおもいました。  
そして「きれいな川でうれしいな」と思いました。

(堀家乙輝)

岡崎城を守るように流れ続ける乙川。  
歴史は古く1万5千年前の旧石器時代といわれているそうです。  
美しい乙川を守るために僕たちができることを考えていきたいと思います。

(堀家旦輝)

# 調査用紙 概要



## 【水質調査結果】

調査日時	年 月 日
調査場所	河川名 住所
川の幅	m
天気	



兄弟ふたりの意見を合わせたものを記録

日本中の川を見てきたわけではないので、自分たちが知っているだけの主観的な記録です

河川付近や河川内は危ないので、危なくない範囲、安全な場所のみの観察・記録

水のきれいさ	調査項目ごとの評価					評価	単位値
	5	4	3	2	1		
1.水の色	無色	中間	少し色がある	中間	濃い色がついている		
2.水のにおい	透明	中間	臭いにおいがある	中間	とくに臭いがある		
3.水におい	においがない	中間	いかににおいがある	中間	いかににおいがある		
4.水辺の草や木	緑が濃い	中間	緑が少しある	中間	緑がほとんどない		
5.水辺の土壌	土壌が黒い	中間	土壌が少し黒い	中間	土壌がほとんど黒い		
6.水の透明度	20g/L以下	20g/L以下	20g/L以下	20g/L以下	20g/L以上		

水の量	調査項目ごとの評価					評価	単位値
	5	4	3	2	1		
1.流れの速さ	速く流れている	中間	流れが少し遅い	中間	ほとんど流れない		
2.流れの深さ	深さがある	中間	深さが少しある	中間	ほとんど深くない		
3.川の長さ	20km以上	40~20km	20~40km	10~20km	10km未満		

水辺の深さ	調査項目ごとの評価					評価	単位値
	5	4	3	2	1		
1.水の深さ	浅くない	中間	水深が少しある	中間	深い		
2.水辺の雑草	少ない雑草がある	中間	雑草が生えている	中間	雑草が多い		
3.水辺の土壌	土が少し黒い	中間	土が少し黒い	中間	土が黒い		
4.水辺の土壌	土が少し黒い	中間	土が少し黒い	中間	土が黒い		

水辺の様子	調査項目ごとの評価					評価	単位値
	5	4	3	2	1		
1.水辺	きれいな水	中間	水が少し汚れている	中間	水が汚れている		
2.水辺の汚濁	きれいな水	中間	水が少し汚れている	中間	水が汚れている		
3.水辺のゴミ	ゴミが少ない	中間	ゴミが少しある	中間	ゴミが多い		
4.水辺の土壌	土が少し黒い	中間	土が少し黒い	中間	土が黒い		
5.水辺の土壌	土が少し黒い	中間	土が少し黒い	中間	土が黒い		
6.水辺の土壌	土が少し黒い	中間	土が少し黒い	中間	土が黒い		

### ①河川の様子

川の流れる音、川に来ている人、犬の散歩の人がいるかなどを主観的に観察する。

### ②河川の状況

川の周りや植物のこと、調査した川の付近の状況などを客観的に観察し、事実を記録する。

### ③水質調査

【調査方法】  
各河川で流れている水を取ってCODテストをする

### ④マイクロプラスチック調査

【調査方法】  
川の中や川の付近で砂や土を採取  
・川の中の砂は水を取った場所の底砂  
①飲み口をカットしたペットボトルの底に採取した底砂を入れる  
②水道水を注ぎ、水と底砂をぐるぐると混ぜる  
③十分に混ざったら、砂が沈殿するまで放置  
④浮いてきたものの中にプラスチックがないか調べる  
・川付近の砂は乾いた砂を採取  
①4ミリのふるいと1ミリのふるいを重ねてふるう  
②ふるいに残ったものの中からプラスチックを探す

### ⑤感想・考察



# 【水質調査結果 1】

調査日時	2022年6月20日午後11時30分
調査場所	乙川 上流 かおれ溪谷(岡崎市桜形町船輿)
川の幅	約5~10m
天気	晴れ



水のきれいさ	調査項目ごとの評点					評点	平均点
	5	4	3	2	1		
	安全できれいな水 ← 利用しにくい水						
1.水の色	無色	中間	少し色がある	中間	濃い色がついている	5	5
2.水のごり	透明	中間	少しにごっている	中間	とてもにごっている	5	
3.水におい	においをかんじない	中間	いやなおいを少し感じる	中間	いやなおいを強く感じる	5	
4.水面の泡や油	泡はない 油のまくはない	中間	泡が少しある 油のまくが少しある	中間	泡が多い 油のまくが多い	5	
5.水の底の感触	心地よい	中間	ちよつとぬるぬるしている	中間	ぬるぬるして気持ちわるい	5	
6.CODバックテスト濃度	2mg/l以下	3mg/l以下	5mg/l以下	8mg/l以下	8mg/lをこえる	5	

水の量	調査項目ごとの評点					評点	平均点
	5	4	3	2	1		
	十分な流れがある ← 流れがほとんどない						
1.流れのはやさ	水面に波がある よわな流れがある	中間	水面は波がないがはっきり 流れているとわかる	中間	流れがほとんどない	5	4.667
2.流れの変化	多様な流れがある	中間	流れに変化がある	中間	流れに変化がない	5	
3.川の深さ	60cm以上	40~60cm	20~40cm	10~20cm	10cm未満	4	

生態系	調査項目ごとの評点					評点	平均点
	5	4	3	2	1		
	生物が豊かな水環境 ← 生物がほとんどいない水環境						
1.魚のようす	たくさんいる	中間	たまに観かける	中間	魚がいない	5	5
2.水ぎわの植物	いろいろな植物が 多く生えている	中間	植物が生えている	中間	植物はない	5	
3.周辺の植物	木が多くはえている	中間	緑がある	中間	緑はない	5	
4.周辺の生き物	いろいろな種類の 生き物がある	中間	たまに生き物を観る	中間	生き物はない	5	

水辺の様子	調査項目ごとの評点					評点	平均点
	5	4	3	2	1		
	快適な水辺 ← 不快な水辺						
1.ごみ	ごみがない	中間	ごみがところどころにある	中間	ごみが多い	3	4.5
2.水辺の利用	水の周りを 中で遊びたい	中間	眺めたり散歩をしたい	中間	近づきたくない	5	
3.水辺への近づきやすさ	どこからでも 水辺に近づける	中間	水辺にちかづける ところがある	中間	近づけない	4	
4.水辺の自然度	緑が多く 自然が豊か	中間	緑はある	中間	人工的な水辺	5	
5.水辺の景観	全体が調和していて こころがよい	中間	調和していない ところもある	中間	まわりの風景と うまく調和していない	5	
6.マイクロプラスチック	0個	1~2個	3~5個	6~9個	10個以上	5	

## ①河川の様子

- 去年友達と夏休みに川遊びにきたことがある。たくさんの人がいた
- 犬の散歩の人や、犬も泳いでいた
- 川は岩の間を流れていて、川の片側は歩けるように舗装されていた
- 舗装されたところでお菓子を食べたりBBQができるので、ゴミが落ちている



## ②河川の状況

- 大きな岩にぶつかって流れ落ちる音がずっと聞こえている
- 周りには大きな木がたくさん生えていて森の中のようだった
- 小さな魚が泳いでいる
- 水の温度が冷たい



## ③水質調査



CODテストは濃いピンク。  
透明で臭いもまったくしない。  
とてもきれいな水。

## ④マイクロプラスチック調査

水質調査をした箇所の水中の砂を採取  
マイクロプラスチックはみつかりませんでした

※ゴミがおちているところの砂をとったら  
また違う結果だったかもしれない



## ⑤感想・考察

乙川上流のかおれ溪谷はとてもきれいで気持ちのよい場所でした  
魚を捕まえたり、水にとびこんだりして遊べる場所ですが、BBQやご飯やお菓子を食べる人も多いので、  
プラスチックのごみ袋や、お菓子の袋やダンボールがすみのほうに落ちていました。  
ビンや缶、ペットボトルのごみはなくても、他のゴミが目立ちました  
人が集まる場所にはどうしても風で飛ばされたりするゴミがでてしまいます。

## 【水質調査結果 2】

調査日時	2022年6月20日午後12時
調査場所	乙川 中流 平川水神社付近(岡崎市大平町百々)
川の幅	30m
天気	晴れ



水のきれいさ	調査項目ごとの評点					評点	平均点
	5	4	3	2	1		
	安全できれいな水 ← → 利用しにくい水						
1.水の色	無色	中間	少し色がある	中間	濃い色がついている	4	4.5
2.水にごり	透明	中間	少しにごっている	中間	とてもにごっている	5	
3.水におい	においをかんじない	中間	いやなおいを少し感じる	中間	いやなおいを強く感じる	4	
4.水面の泡や油	泡はない 油のまくはない	中間	泡が少しある 油のまくが少しある	中間	泡が多い 油のまくが多い	4	
5.水の底の感触	心地よい	中間	ちよつとぬるぬるしている	中間	ぬるぬるして気持ちわるい	5	
6.CODパック テスト濃度	2mg/l以下	3mg/l以下	5mg/l以下	8mg/l以下	8mg/lをこえる	5	

水の量	調査項目ごとの評点					評点	平均点
	5	4	3	2	1		
	十分な流れがあ ← → 流れがほとんどない						
1.流れのはやさ	水面に波がある ような流れがある	中間	水面は波がないがはっきり 流れているとわかる	中間	流れがほとんどない	4	3
2.流れの変化	多様な流れがある	中間	流れに変化がある	中間	流れに変化がない	3	
3.川の深さ	60cm以上	40~60cm	20~40cm	10~20cm	10cm未満	2	

生態系	調査項目ごとの評点					評点	平均点
	5	4	3	2	1		
	生物が豊かな水環境 ← → 生物がほとんどいない水環境						
1.魚のようす	たくさんいる	中間	たまに観かける	中間	魚はいない	2	2.75
2.水ぎわの植物	いろいろな植物が 多く生えている	中間	植物が生えている	中間	植物はない	3	
3.周辺の植物	木が多くはえている	中間	緑がある	中間	緑はない	3	
4.周辺の生き物	いろいろな種類の 生き物がいる	中間	たまに生き物を見る	中間	生き物はない	3	

水辺の様子	調査項目ごとの評点					評点	平均点
	5	4	3	2	1		
	快適な水辺 ← → 不快な水辺						
1.ごみ	ごみがない	中間	ごみがところどころにある	中間	ごみが多い	4	3.667
2.水辺の利用	水の周りを 中で遊びたい	中間	眺めたり散歩をしたい	中間	近づきたくない	3	
3.水辺への 近づきやすさ	どこからでも 水辺に近づける	中間	水辺に近づける ところがある	中間	近づけない	3	
4.水辺の自然度	緑が多く 自然が豊か	中間	緑はある	中間	人工的な水辺	3	
5.水辺の景観	全体が調和していて こちがよい	中間	調和していない ところもある	中間	まわりの風景と うまく調和していない	4	
6.マイクロプラスチック	0個	1~2個	3~5個	6~9個	10個以上	5	

### ①河川の様子

- ・人は誰もいなかった
- ・住宅地の奥に川が流れていた
- ・舗装されていたけど、散歩ができるような雰囲気ではなかった



### ②河川の状況

- ・川幅が広く、川は浅く、流れは少しだけ速かった
- ・川のまわりには背の低い雑草がはえていた
- ・川の対岸に馬がいた
- ・川に約15センチの落差がある箇所があったのでこの水音がしていた
- ・川底はコンクリートだった

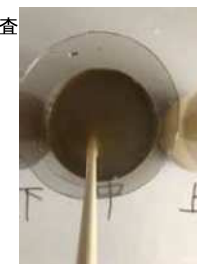


### ③水質調査



CODテストは濃いピンク。  
透明で臭いはほとんどしない。

### ④マイクロプラスチック調査



マイクロプラスチックなし

### ⑤感想・考察

日頃から人が近づかないような場所だと思う。  
大雨がふったらすぐ増水しそうな場所だったから危ないかなと思った。  
人がいないので目立つごみは全くなかったけれど、紙やダンボールのごみやビニール袋があった。飛んで来たりおとしたりするようなゴミはどうしても仕方ないのかなと思った。



# 【水質調査結果 3】

調査日時	2022年6月20日午後12時15分
調査場所	乙川 下流 岡崎市明大寺町北中平地
川の幅	40m
天気	晴れ



水のきれいさ	調査項目ごとの評点					評点	平均点
	5	4	3	2	1		
	安全できれいな水 ← → 利用しにくい水						
1.水の色	無色	中間	少し色がある	中間	濃い色がついている	3	3.833
2.水のにごり	透明	中間	少しにごっている	中間	とてもにごっている	5	
3.水におい	においをかんじない	中間	いやなおいを少し感じる	中間	いやなおいを強く感じる	4	
4.水面の泡や油	泡はない 油のまくはない	中間	泡が少しある 油のまくが少しある	中間	泡が多い 油のまくが多い	3	
5.水の底の感触	心地よい	中間	ちよつとぬるぬるしている	中間	ぬるぬるして気持ちわるい	3	
6.CODバックテスト濃度	2mg/l以下	3mg/l以下	5mg/l以下	8mg/l以下	8mg/lをこえる	5	

水の量	調査項目ごとの評点					評点	平均点
	5	4	3	2	1		
	十分な流れがあ ← → 流れがほとんどない						
1.流れのはやさ	水面に波がある ような流れがある	中間	水面は波がないが はっきりと流れている	中間	流れがほとんどない	3	2.667
2.流れの変化	多様な流れがある	中間	流れに変化がある	中間	流れに変化がない	2	
3.川の深さ	60cm以上	40~60cm	20~40cm	10~20cm	10cm未満	3	

生態系	調査項目ごとの評点					評点	平均点
	5	4	3	2	1		
	生物が豊かな水環境 ← → 生物がほとんどいない水環境						
1.魚のようす	たくさんいる	中間	たまに見かける	中間	魚がいない	3	2.5
2.水ぎわの植物	いろいろな植物が 多く生えている	中間	植物が生えている	中間	植物はない	1	
3.周辺の植物	木が多くはえている	中間	緑がある	中間	緑はない	3	
4.周辺の生き物	いろいろな種類の 生き物がいる	中間	たまに生き物を見る	中間	生き物はない	3	

水辺の様子	調査項目ごとの評点					評点	平均点
	5	4	3	2	1		
	快適な水辺 ← → 不快な水辺						
1.ごみ	ごみがない	中間	ごみがところどころにある	中間	ごみが多い	3	3
2.水辺の利用	水の周りを 中で遊びたい	中間	眺めたり散歩をしたい	中間	近づきたくない	3	
3.水辺への近づきやすさ	どこからでも 水辺に近づける	中間	水辺にちかづける ところがある	中間	近づけない	2	
4.水辺の自然度	緑が多く 自然が豊か	中間	緑はある	中間	人工的な水辺	1	
5.水辺の景観	全体が調和していて こちらがよい	中間	調和していない ところもある	中間	まわりの風景と うまく調和していない	4	
6.マイクロプラスチック	0個	1~2個	3~5個	6~9個	10個以上	5	

## ①河川の様子

- ・ジョギング、犬の散歩、子供と散歩などたくさんの方がいる
- ・川の中に入って遊ぶ人はいない
- ・草の生える場所がない。
- ・川の端のほうにペットボトルやビニル袋のごみがたまっている



## ②河川の状況

- ・川底の土をとったときぬるっとした
- ・よく見ると流れているのがわかる
- ・川の周りは全部舗装されている
- ・平らな場所で水音は全く聞こえない
- ・植えられた木が規則正しく並んでいる



## ③水質調査



水質はきれいだった

## ④マイクロプラスチック調査



泥の臭いがとてもきつかった  
へどろの臭いがした



## ⑤感想・考察

- ・水の流れがゆるやかだし、魚もあまりいないし、泥の臭いが臭いから水質が悪いと思ったけど水質はきれいでした
- ・鯉やフナがたくさんいる場所もある
- ・鳥が水に入っているときもあるので魚を食べているのかもしれない
- ・桜が咲くととてもきれいだけどゴミは増える

# 【水質調査結果 4】

調査日時	2022年7月20日午後12時
調査場所	矢作川 中流(乙川合流前) 矢作橋河川緑地(岡崎市矢作町宝珠庵)
川の幅	60~75m
天気	晴れ



水のきれいさ	調査項目ごとの評点					評点	平均点
	5	4	3	2	1		
	安全できれいな水 ← → 利用しにくい水						
1.水の色	無色	中間	少し色がある	中間	濃い色がついている	5	4.5
2.水のにごり	透明	中間	少しにごっている	中間	とてもにごっている	5	
3.水におい	においをかんじない	中間	いやなおいを少し感じる	中間	いやなおいを強く感じる	5	
4.水面の泡や油	泡はない 油のまがは無い	中間	泡が少しある 油のまが少しある	中間	泡が多い 油のまが多い	5	
5.水の底の感触	心地よい	中間	ちよつとぬるぬるしている	中間	ぬるぬるして気持ちわるい	5	
6.CODバックテスト濃度	2mg/l以下	3mg/l以下	5mg/l以下	8mg/l以下	8mg/lをこえる	2	

水の量	調査項目ごとの評点					評点	平均点
	5	4	3	2	1		
	十分な流れがある ← → 流れがほとんどない						
1.流れのはやさ	水面に波があるような流れがある	中間	水面が波がないが少し流れているとわかる	中間	流れがほとんどない	3	3.333
2.流れの変化	多様な流れがある	中間	流れに変化がある	中間	流れに変化がない	3	
3.川の深さ	60cm以上	40~60cm	20~40cm	10~20cm	10cm未満	4	

生態系	調査項目ごとの評点					評点	平均点
	5	4	3	2	1		
	生物が豊かな水環境 ← → 生物がほとんどいない水環境						
1.魚のようす	たくさんいる	中間	たまに観かける	中間	魚がいなし	1	3.5
2.水ぎわの植物	いろいろな植物が多く生えている	中間	植物が生えている	中間	植物はない	5	
3.周辺の植物	木が多くはえている	中間	緑がある	中間	緑はない	5	
4.周辺の生き物	いろいろな種類の生き物がいる	中間	たまに生き物を見る	中間	生き物はない	3	

水辺の様子	調査項目ごとの評点					評点	平均点
	5	4	3	2	1		
	快適な水辺 ← → 不快な水辺						
1.ごみ	ごみがない	中間	ごみがところどころにある	中間	ごみが多い	3	3.667
2.水辺の利用	水の周りや中で遊びたい	中間	眺めたり散歩をしたい	中間	近づきたくない	3	
3.水辺への近づきやすさ	どこからでも水辺に近づける	中間	水辺に近づけるところがある	中間	近づけない	3	
4.水辺の自然度	緑が多く自然が豊か	中間	緑はある	中間	人工的な水辺	5	
5.水辺の景観	全体が調和していて心地よい	中間	調和していないところもある	中間	まわりの風景とうまく調和していない	5	
6.マイクロプラスチック	0個	1~2個	3~5個	6~9個	10個以上	3	

## ①河川の様子

- ・犬が川の中で泳いでいた
- ・夏休みにたくさんの人が川遊びをしているのをみたことがある
- ・川の駐車場付近の舗装された広場でBBQをしていた
- ・川からはなれるほどゴミが増える

## ②河川の状況

- ・川幅がひろい
- ・雨が降らない時は、川は浅い。大人のひざ下。
- ・中州のような砂地になっている場所がある
- ・いろいろな種類の野鳥をみかける
- ・川の周りは背の高い雑草。堤防の方には木も生えている

## ③水質調査



水は透明で無臭だったのできれいかと思ったら乙川ほどきれいではなかった

## ④マイクロプラスチック調査

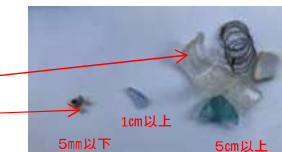


←マイクロプラスチックなし

マイクロプラスチックなし

ガラスの破片がたくさん落ちていた  
針金も落ちていた(危ない)

ガラスの小さくなった破片  
プラスチックの破片



## ⑤感想・考察

砂地のところにビンや缶のゴミを見つけた。  
背の高い雑草のところではダンボールやレジ袋などもあった。  
ビンのかけらや、茶碗の破片、針金も落ちていて危ない  
マイクロプラスチックかどうかわからないけど、石ではないものがいくつかあった

# 【水質調査結果 5】

調査日時	2022年9月18日午後4時
調査場所	矢作川 中流(乙川合流後) 小川天神川原緑地(安城市小川町天神)
川の幅	100m
天気	晴れ



水のきれいさ	調査項目ごとの評点					評点	平均点
	5	4	3	2	1		
	安全できれいな水 ← → 利用しにくい水						
1.水の色	無色	中間	少し色がある	中間	濃い色がついている	5	4
2.水のにごり	透明	中間	少しにごっている	中間	とてもにごっている	5	
3.水におい	においをかんじない	中間	いやなおいを少し感じる	中間	いやなおいを強く感じる	5	
4.水面の泡や油	泡はない 油のまくはない	中間	泡が少しある 油のまくが少しある	中間	泡が多い 油のまくが多い	3	
5.水の底の感触	心地よい	中間	ちよつとぬるぬるしている	中間	ぬるぬるして気持ちわるい	3	
6.CODバックテスト濃度	2mg/l以下	3mg/l以下	5mg/l以下	8mg/l以下	8mg/lをこえる	3	

水の量	調査項目ごとの評点					評点	平均点
	5	4	3	2	1		
	十分な流れがあく ← → 流れがほとんどない						
1.流れのはやさ	水面に波がある ような流れがある	中間	水面は波がないが はっきりしている	中間	流れがほとんどない	3	3.333
2.流れの変化	多様な流れがある	中間	流れに変化がある	中間	流れに変化がない	3	
3.川の深さ	60cm以上	40~60cm	20~40cm	10~20cm	10cm未満	4	

生態系	調査項目ごとの評点					評点	平均点
	5	4	3	2	1		
	生物が豊かな水環境 ← → 生物がほとんどいない水環境						
1.魚のようす	たくさんいる	中間	たまに観かける	中間	魚がいない	2	3.75
2.水ぎわの植物	いろいろな植物が 多く生えている	中間	植物が生えている	中間	植物はない	5	
3.周辺の植物	木が多くはえている	中間	緑がある	中間	緑はない	5	
4.周辺の生き物	いろいろな種類の 生き物がいる	中間	たまに生き物を見る	中間	生き物はない	3	

水辺の様子	調査項目ごとの評点					評点	平均点
	5	4	3	2	1		
	快適な水辺 ← → 不快な水辺						
1.ごみ	ごみがない	中間	ごみがところどころにある	中間	ごみが多い	1	3
2.水辺の利用	水の周りを 中で遊びたい	中間	眺めたり散歩をしたい	中間	近づきたくない	3	
3.水辺への近づきやすさ	どこからでも 水辺に近づける	中間	水辺に近づける ところがある	中間	近づけない	3	
4.水辺の自然度	緑が多く 自然が豊か	中間	緑はある	中間	人工的な水辺	5	
5.水辺の景観	全体が調和していて こころがよい	中間	調和していない ところもある	中間	まわりの風景と うまく調和していない	5	
6.マイクロプラスチック	0個	1~2個	3~5個	6~9個	10個以上	1	

## ①河川の様子

- ・駐車場を探して、川に近づける場所を探すのに苦労した(ほとんどない)
- ・犬の散歩をする人、野球チーム、川でカヌーをする人たちなど  
多くのひとがレクリエーションで使っていた
- ・ごみがたくさん落ちていた。プラスチックごみが多い
- ・川の流れははっきり見えるが水音はしない

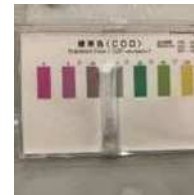


## ②河川の状況

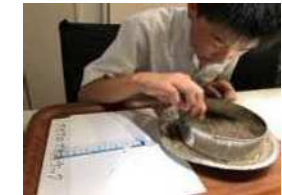
- ・川の端の流れが滞っているところは油や泡がういていた
- ・背の高い植物がたくさん生えている。
- ・カエルや虫をみた
- ・川幅がとてもひろい
- ・川に近づける箇所がほとんどない



## ③水質調査



水質は矢作川上流と同じくらい



## ④マイクロプラスチック調査



プラスチック破片のようなもの、天然のものではないにか、プラスチック・ガラス破片

## ⑤感想・考察

- ・乙川合流からすぐ近くで水質調査をしたかったけど場所がなかった(約6km下流)
- ・乙川が合流したら水質は少しよくなるかと期待したがよくなかった。
- ・プラスチックごみがとても多い。ガラスの破片のようなものもよく見つかった
- ・薬の壊れた容器など、レジャーに関係ない物もおちていた

# 調査結果まとめ

## 【結果】

### 乙川は全ての箇所水質は良好だった

乙川の上流から下流まですべてきれいな水には理由がありました。

50年前、乙川はとても汚れた川でした。なぜなら岡崎市に下水道がなく、生活ででたよごれた水はすべてそのまま乙川に流していたからです。

でも、30年前から岡崎市に下水道が整備されはじめると、どんどん乙川の水質はきれいになり始めました。いまでは、岡崎市内の90%に下水道があるので、乙川はどこの水でもBOD2mg以下のきれいな水になっています。

でも、きれいな川だから、多くの人が近づいたり遊んだりするので、川はきれいなのにゴミがあるなど残念に思いました。

ペットボトルの残ったジュースも水を汚す原因になるので、遊びに行くときは水筒にする、とんでいったゴミもひとつ残らず拾う、とかしないといけないと思いました。

(堀家乙輝)

## 【参考】

岡崎市立図書館環境部令和4年6月特別展示

## 【矢作川の水質】

### 矢作川と乙川の合流前と後では大差なかった

矢作川も昔はとても汚れた川だったようだ。

1960年代、矢作川には宅地やゴルフ場造成の山砂利、陶土採取業者の土砂を洗ったあとのヘドロ、大規模な工場による工場排水をたれ流ししており、水質被害は深刻だった。矢作川水域のアユは死滅し、下流のノリやアサリの養殖は大打撃だった。1966年に「矢作川沿岸水質保全対策協議会」が設立されたが、当時は環境よりも経済優先の思想のため、矢作川を守る戦いが30年続く。矢作川では、汚濁の実態データを集め水質汚濁防止法違反で愛知県警に悪質業者を告発する、「濁水を出さない工事」や土砂流出防止対策を編み出す、など矢作川水域の開発を守りながら、水質を守り続ける努力が50年以上なされてきたのだ。

愛知県を代表する川のひとつ「矢作川」。その大切な川に乙川の水が流れ込んだことで、矢作川の水質が悪くなった、とならなくてよかったと胸をなでおろしています。支流である乙川も、矢作川を守る役割を担っているのだと、生活している身として責任を重く感じました。

(堀家旦輝)

## 【参考文献】

- ・公益社団法人日本河川協会「水質浄化運動30年の闘い」矢作川で生まれた流域管理
- ・矢作川とその流域



## 水質調査以外に取り組んだ 「マイクロプラスチック調査」 について

近年問題になっているマイクロプラスチック。祖母宅は伊勢湾に面している砂浜が近いので、砂を採取した。するとたった350gの砂から30個以上のプラスチックが採れた。大きなものは鋭利で危なく、ちいさなマイクロプラスチックはもろく触ると割れるものもあった。でも消えてくならないから問題なのだ。



今は海に浮かんだゴミを船が回収に行く方法しかない。プラスチックは便利だし、医療用など必要なプラスチックもある。プラスチックを無くすことはできないが、川や海にプラスチックが流出することを防ぐことはできるはずだ。だからこれからは、プラスチックを改良するか、河川や海を改良して川も海も守っていくことが僕たちの役目だと思う。

## 反省・考察



乙川ではマイクロプラスチックはなかったという結果だったが、探し方が間違っていたと思う。次回はゴミの落ちているような川から少し離れた場所の砂や土を採取して、川でもマイクロプラスチック問題が進行していないかを調査しないといけないと思う。

マイクロプラスチック問題と、水質問題は密接な関係だと思う。ゴミの多くはプラスチック製品だ。プラスチックは便利だけれど、利用方法や使用後の再利用について知らなければならないと思う。全ては自分たちの生活から発生する問題だ。

また川はゴミ問題だけでなく命を守るための工夫がされていることにも気がついた。川はどこでも、簡単に近づけないようになっていた。車が入れないようにポールがたっていたり、舗装された場所は限られていて、人の命を守る工夫や取り組みがされていることに気が付いた。きれいな川は眺めたり散歩をしたくなる。しかし、守るべき自然と、守るべき命もある。命を守るために川付近を舗装したりすることは必須ともいえる。

乙川は今はきれいになった。しかし今後、プラスチックごみ問題やエネルギー問題で、水質が維持できるかどうかはわからない。生活の仕組み、川や行政の仕組みも理解して、これから自分たちが新しく取り組めることや改善できることを考え日々丁寧に生活していきたいと、今回の調査を通して感じた。

(堀家旦輝)